

PRESS RELEASE



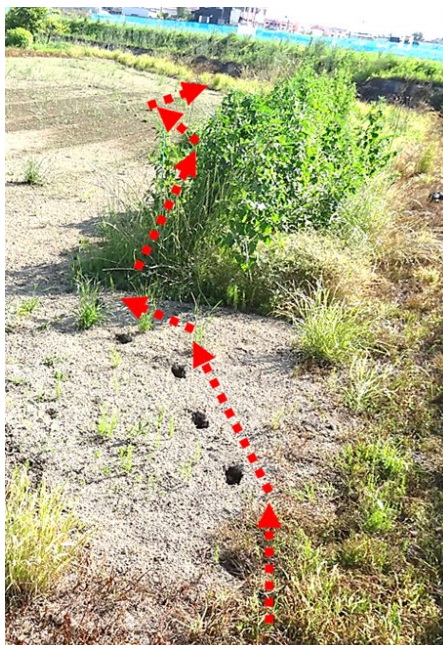
群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

2024年6月25日

報道関係者 各位

太田市役所農業政策課と共同することで、シカ・イノシシ・アライグマなどの被害低減について研究を進めています

群馬大学理工学部（群馬県桐生市・太田市）は、「群馬大学と太田市の相互友好協力に関する包括協定書」に基づき、農業政策課有害鳥獣対策係のご協力により、ニホンジカ・ニホンイノシシ・アライグマ・ハクビシンなど野生動物の食性や行動などに関して、DNA分析・コンピュータービジョン・IoTなど新しい技術を用いた調査研究を2018年から進めて参りました。最新の成果は、市街地や工場の多い太田市においてもニホンジカの生息域が広がりつつあること、耕作地への侵入や交通事故など、農業被害や生活被害の兆候が見え始めていることについての論文発表です。



1. 本件のポイント

- 太田市と群馬大学の包括協定に基づいて、野生動物の調査・研究を広く進めています
- 渡良瀬川と利根川を通ることで、太田市の市街地にニホンジカが出現しています
- 夜間・早朝に大型動物（イノシシ・シカ）との交通事故が発生しています
- シカやイノシシを見かけても、追いかけるなど刺激しないようにして下さい

2. 本件の概要

最新の研究成果は、群馬県南東部の平地である太田市にもニホンジカの生息域が広がってきたことの報告です。生息密度の高い赤城山や足尾山地から、渡良瀬川や利根川を移動してくることで太田市まで生息域が広がりつつあることを、捕獲数・自動カメラの映像・聞き取り調査などを総合的に検証することで明らかにしました。市街地のニホンジカは食物になる芝生を探していると考えられ、公園やグラウンドゴルフ場などにおいて2024年5～6月にも目撃されています。現在は、通年で市街地に定着しているニホンジカ個体はありません。また、大きな農業被害もありません。一方で、未報告の交通事故と推定される死亡個体もいくつか発見されており、夜間・早朝の車の運転にはどうぞご注意ください。

3. 発表雑誌

雑誌名：群馬県立自然史博物館研究報告

論文題名：群馬県太田市において2022年秋から2023年初夏にかけてニホンジカ（*Cervus nippon*）が多く観察されたことについて

掲載号：第28号（2024）p.187-202

著者：奥 浩之・片山 豪・正田 修一・木村信太郎・小島 幹夫・橋本 吉弘・浜田弘樹・小林 孝之

https://www.gmnh.pref.gunma.jp/wp-content/uploads/bulletin28_14.pdf

4. 関連研究の発表

雑誌名：群馬県立自然史博物館研究報告

論文題名：群馬県太田市の金山丘陵において観察された、初夏に落ちるクワ（*Morus alba*）の実が誘引する様々な哺乳動物種について

掲載号：第27号（2023）p.133-144

著者：奥 浩之・片山 豪・正田 修一・木村 信太郎・高野 義一・小島 幹夫・橋本 吉弘・津久井 弘吉・小林 孝之・恩田 俊久

https://www.gmnh.pref.gunma.jp/wp-content/uploads/bulletin27_13.pdf

雑誌名：群馬県立自然史博物館研究報告

論文題名：群馬県太田市と桐生川において採取したニホンイノシシ (*Sus scrofa leucomystax*) の糞を用いたDNAバーコーディングによる植物食性の解析

掲載号：第26号（2022） p. 143-154

著者：奥 浩之・中山 大地・芝尾 穂高・片山 豪

https://www.gmnh.pref.gunma.jp/wp-content/uploads/bulletin26_11.pdf

雑誌名：群馬県立自然史博物館研究報告

論文題名：群馬県太田市吉沢町におけるニホンイノシシ (*Sus scrofa leucomystax*) の植物食性についてDNAメタバーコーディングによる解析

掲載号：第25号（2021） p. 101-113

著者：奥 浩之・中山 大地・芝尾 穂高・片山 豪

https://www.gmnh.pref.gunma.jp/wp-content/uploads/bulletin25_10.pdf

雑誌名：群馬県立自然史博物館研究報告

論文題名：群馬県太田市八王子丘陵・金山丘陵に生息するニホンイノシシ (*Sus Scrofa leucomystax*) の腸内容物を用いたDNAメタバーコーディングによる食性解析

掲載号：第24号（2020） p.71-80

著者：奥 浩之・山路 稔・片山 豪

https://www.gmnh.pref.gunma.jp/wp-content/uploads/bulletin24_7.pdf

雑誌名：産業応用工学会論文誌

論文題名：深層学習と動体検出を組み合わせた動画からの害獣認識手法

掲載号：9 巻 1 号（2021） p.38-45

著者：中島 彩奈・奥 浩之・茂木 和弘・白石 洋一

DOI 番号：<https://doi.org/10.12792/jjiiae.9.1.38>

雑誌名：ロボティクス・メカトロニクス講演会講演概要集

論文題名：オプティカルフローを用いた動画像からの小動物の検出

掲載号：2020 巻（2020） 2P1-N05

著者：関口 雄紀・中沢 信明・奥 浩之

DOI 番号：<https://doi.org/10.1299/jsmermd.2020.2P1-N05>

5. 謝辞

本研究は、共著者である太田市役所農業政策課有害鳥獣対策係の方々、群馬大学太田キャンパスのICT研究会の方々、高崎健康福祉大学片山豪教授との情報交換や意見交換により進めて参りました。発表データには太田市役所の行政記録・映像記録がとて多く用いられています。さらに調査研究においては、群馬県猟友会（太田支部・藪塚支部・新田支部）の方々、市内各自治会の方々、捕獲檻の維持管理をされているの方々、野外調査にてお話しをお聞かせ頂いたの方々、とて多くのご協力を頂いています。これまでお世話になりました皆様方に、心から御礼を申し上げます。

【本件に関するお問合せ先】

群馬大学 理工学学部 准教授 奥浩之 TEL : 0276-50-2341

E-MAIL : oku@gunma-u.ac.jp

庶務係広報担当 TEL : 0277-30-1014

E-MAIL : rikou-pr@ml.gunma-u.ac.jp